

広報 M U T S U

11
2021

大高・むつ工業閉校か

むつ市は県の計画見直しを要望

青森県教委 教育改革推進計画公表

青森県教育委員会は、本年7月7日、今後グローバル化や情報化等による社会の急速な変化による変容、そして本県における生徒数の更なる減少に対応する必要があるとし、県立高校の計画的な学校規模と配置の整備を図る「県立高校教育改革推進計画第2期実施計画案（令和5

〇9年度）」を公表した。下北地区においては、大湊高等学校とむつ工業高等学校が対象となり、両校は令和10年度で閉校し、統合校として令和9年度に新設校を設置する案が示された。

および統合・新設案が示された下北地区には反発や不安が広がった。計画案策定にあたり、市民の理解は適切に得られているのか。今月の広報むつは、特集として公表された高校再編計画に対する市民の「声」をお届けする。



(上)青森県立大湊高等学校と青森県立むつ工業高等学校 (下)県教委に対する要望活動。各関係団体の声を届けた